

令和2年度埼玉県収蔵埋蔵文化財保存活用事業

「本物の土器を授業で」

使用方法が
わかりやすい

授業の導入
まとめに活用

発見！どき・土器ワールド
＼あけよう！

古代からの玉手箱

学習用キット
ガイドブック

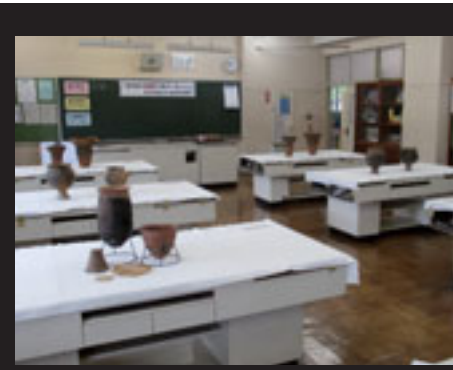


学習用キットの
カタログはこちら

《ナベの歴史》

対象とする授業のめやす

小学校社会科・家庭科・総合的学習の時間
中学校社会科・家庭科・総合的学習の時間



① 土器の配置

白い布を敷いた6
テーブルの上に、
縄文土器2・弥生
土器2・古墳時代
の土器3の2セッ
ト配置します。



② 遺跡の発掘

遺跡を発掘して土
器が出土するまで
をパネルで紹介し
ます。土器が、ど
のように埋もれて
いたか解説します。



③ 観察の注意

- ・両手で持つこと
- ・片手でつまみ上げないこと
- ・優しく持つこと
- ・手渡ししないこと

などの約束を守ら
せます。



④ 縄文土器

- ・火があたったのはどこか
- ・縄の模様はどこにあるのか
- ・取っ手が片方しかないのはなぜかなどを考えます。



⑤ 弥生土器

- ・火があたったのはどこか
- ・厚いか薄いか
- ・模様はあるか

縄文土器と比較し
て考えます。



⑥ 古墳時代の土器

- ・3点を組み合わせ
て使います。
- ・弥生土器との共通
点はどこか
- ・なぜ土器に穴が開
いているのかを考
えます。

学習用キットの効果

ナベの歴史を通じ、工夫の積み重ねが現代の暮らしへつながることを知ることができる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|--|---|--|---|
| 導入 (5)分 展開 (35)分 まとめ (5)分 | 縄文から古墳時代までの 振り返りを行う。 「どうして同じナベなのに 形が違うか」を考えなが ら観察。 グループごとに気付いた ことを発表。 土器とカマドの関係を推 定。カマドに土器を設置。 まとめを行う。 | ナベの土器2セットを6 テーブルに配置。 パネルまたはパワーポイ ント ワークシートに記入 カマド模型 | 学習テーマの概要を説明。 遺跡の発掘調査、土器の出土、土器の復元を解説する。 資料（文化財）は、国民共有の財産であり、未来の子供た ちへ伝える必要性を説く。 資料の取り扱い、注意点を確認する。 各テーブルの土器の時代を時代ラベルで確認。 テーマに基づいた観察を実施。（各テーブル3分で交代）。 机間を巡回し、観察の視点（考古学者の目）を助言する。 土器の特長について相違点や共通点などでまとめる。 縄文土器と狩猟採集、弥生土器と稲作を関連付ける。 古墳時代、カマドに対応した土器が朝鮮半島からもたらさ れたこと、燃料が10分の1で済むようになったことを解説。 現代の豊かな暮らしも、こうした人類のたゆまぬ努力と工 夫の上に成り立っていることを学ぶ。 |

？ どうして同じ使い方なのに形がちがうのかな







土器を観察して気がついたこと、感じたことをメモしよう

考古学者の目

土の中に埋まっても腐らない土器は、あらゆる遺跡から普遍的に出土します。また、形、模様や作り方などが、地域や集団、そして時代によって異なることから、「時間の物差し」として利用されてきました。

文字を使い始めてからの時代も、年号が直接書かれた土器は稀なため、出火年代の分かる寺院の焼けた地層の下や、噴火年代の分かる火山灰層の下から出土したことなどから、土器の年代を決めていました。

近年では、科学的に放射性同位元素を用いたC14年代測定法や、仏像や塔の芯柱の年輪を用いた年輪年代学などによって、土器の年代を決定する研究も進められています。

こうした研究の発展によって、縄文土器の始まりの年代や、卑弥呼の墓ともいわれる箸墓古墳の年代、法隆寺の再建年代の問題など、定説と異なる結果が導かれる場合もあります。

遺跡の発掘調査は、その研究素材を提供、検証する重要な方法です。



大型の蒸し器で米を蒸しあげます

古墳時代に朝鮮半島との交流が盛んになると、さまざまな文物が渡来した人々によって、日本にもたらされました。

馬や登り窯で焼いた土器、そしてカマドなどです。とくにカマドは、炎をドームで覆い、煙や熱を煙突で外に逃がす工夫がされたことで、消費燃料が、炉に比べ10分の1で済む画期的な厨房設備でした。

それは、柴や小枝などの燃料を集める労働時間を短縮することにつながりました。

また、大型の蒸し器も登場して、効率的に米を蒸し上げられるようになりました。

115文字の鉄剣が出土したさきたま古墳群の稲荷山古墳が、作られたのもこのころです。



木の実や肉などをぐつぐつ煮ます



お米を炊き上げます

1 時代と文化の特徴をつかむ



時代や文化の特徴を実物資料を用いて、予習、または復習しましょう。机の上の土器や石器などを、カードを用いて並べ替えましょう。また、胴から上を復元したハニワの全体像を考えてみましょう。さらに打製石斧や石鏃は、どのように柄や矢柄(やがら)に付けていたか推定してみましょう。

[答]

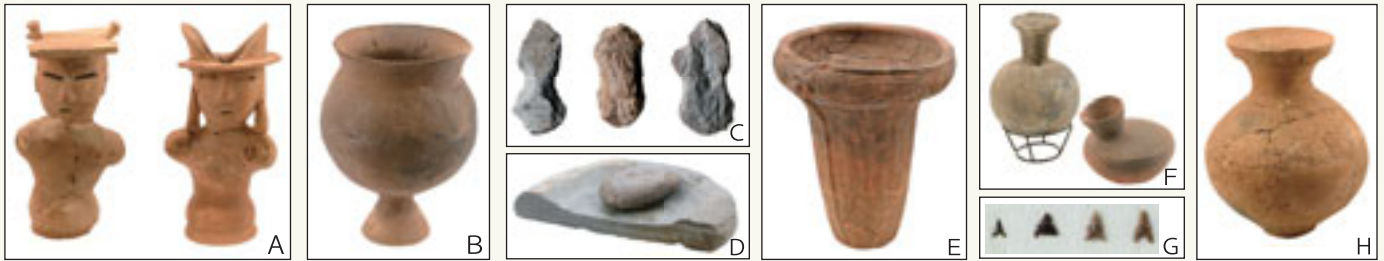
縄文時代 C 打製石斧 D 石皿・すり石 E 深鉢 G 矢じり
弥生時代 B 台の付いたナベ H ツボ
古墳時代 A 人物ハニワ F ツボ・ビン

学習用キットの効果 実物資料の観察を通じ、時代と文化の特徴を説明できる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|-------------|--|--|--|
| 導入 (5)分 | 縄文から古墳時代までの振り返り(予習)を行う。 | 机に土器や石器などをAからHの順に配置する。 | 振り返り(予習)と学習テーマの概要を説明。 |
| 展開 (35)分 | 班ごとに順番に観察する。 班ごとにカードを配り、どの時代の資料か推定する。 ハニワの胴から下を推定する。 | ワークシート 遺物カード×班数 ハニワの全身像の写真パネル 資料集、インターネット | 土器や石器は、国民共有の財産(文化財)であり、未来の子供たちへ伝えるため、大切に扱うことを説く。 まず個人個人が、時代の特徴をよく考えながら割り振り、ワークシートに記入する。 グループで話し合い、意見を集約する。 結果を発表する。そのとき、なぜそう考えたか。推定の根拠を尋ねる。根拠に対してコメントを加え、正答を述べる。 出土遺物の大半は破片資料であり、すべてが揃っていることは珍しい。他の事例などから論拠を基に復元している。 資料集やインターネットを活用し、弓矢などの腐って失われた植物質の部分が、どのような形であったか、確認する。 |
| まとめ (5)分 | まとめを行う。 | ワークシート | 縄文時代と狩猟採集、弥生時代と稲作、古墳時代と国土の統一などを関連付け、人々の努力と工夫をまとめる。 |

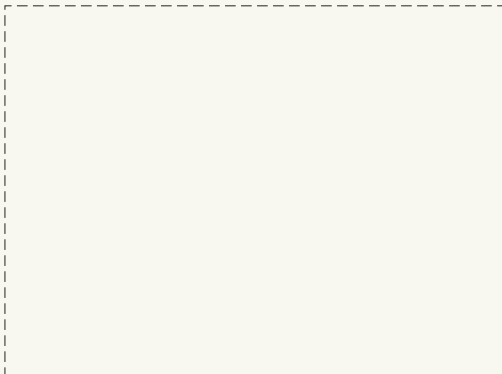
「時代と文化の特徴」ワークシート

① 時代や文化の特徴を考えながら並べかえてみよう。

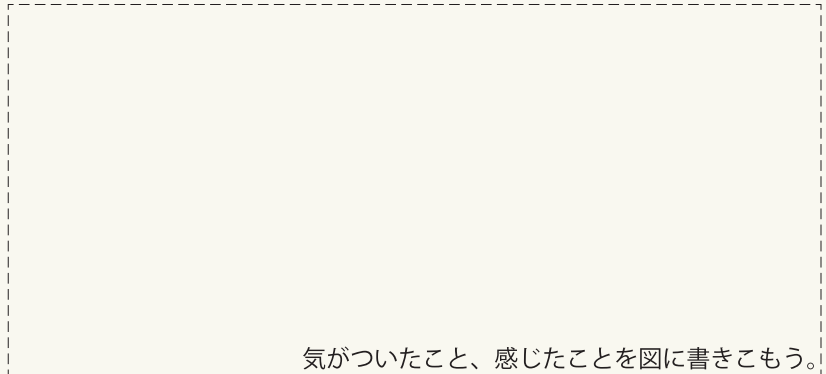


| 時代 特徴 | 縄文時代 狩猟と採集の時代 | 弥生時代 稲作の開始と普及 | 古墳時代 古墳とくにづくり |
|----------|------------------|------------------|------------------|
| 記号と名前 | () | () | () |
| | () | () | () |
| | () | () | () |
| | () | () | () |

② ハニワの胴から下を推定してみよう。



③ 石斧や石鏃の使い方を推定してみよう。



気がついたこと、感じたことを図に書きこもう。

考古学者の目

縄文時代は、石の斧(C)で土を掘り、木を伐採して竪穴住居を作りくらしていました。食事は、石皿(D)とすり石(D)ですりつぶした木の実や、石鏃(G)の付いた弓矢で狩猟した鳥獣、そして魚介を縄文土器(E)でグツグツ煮て調理していました。

弥生時代になるとコメが、食事に加わります。稲作は、縄文時代の末に北部九州にまず伝わりました。種籾が伝わただけではありません。稲刈りや脱穀、水田、用水路などの総合的な稲作技術を携えた渡来人が、やってきたのです。コメをおいしく調理するナベ(B)や種籾を貯蔵するツボ(H)も伝わりました。

永年貯蔵が可能な稲は、富の蓄積を生み、やがて権力者たちが、各地で古墳を築くようになります。なかでも奈良県や大阪府には、巨大前方後円墳が築かれ権力の中心地となりました。ハニワ(A)は、その古墳の周りを取り囲むように、あるいは盛り土の上に据え置かれました。そのため、ハニワの下には、円筒形の台が付いています。

古墳時代の中頃になると、朝鮮半島から渡来人によって馬の生産、工芸品の生産、そして登り窯を用いた焼き物の生産などが導入されました。理科の実験で使うフラスコの形をしたツボ(F)や首が斜めについたビン(F)は、東日本の太平洋岸の古墳や横穴墓に葬られる死者の副葬用として、静岡県西部で積極的に作られました。

※プラスチックケースの資料は、周囲のビニールテープを取らないでください。



モデルとなった縄文土器

Q-こんな体験セットもあります



〔黒曜石で紙を切る〕

縄文人以前の人々は、石で皮をはぎ、肉を切っていました。とくに黒曜石は、切れ味が鋭く、新聞紙もよく切れます。

〔縄文土器のパズル〕

木製パズルを使って、縄文土器の復元作業を疑似体験してみましょう。

木製パズルは、埼玉県立大宮工業高校のラジオ部が、最新のレーザー技術を用いて木の板を加工しました。縄文の手触りや模様などが、鮮やかに復元されています。

なお、このパズルの作成も評価され、令和2年度埼玉県キャリア教育実践アワードにおいて、同校が最優秀賞を受賞されました。

2

ここがちがう土偶と埴輪

ど ぐ う は に わ

対象とする授業のめやす

小学校社会科・図工科・総合的学習の時間
中学校社会科・美術科・総合的学習の時間

こちらが土偶



背中にも模様が

こちらが埴輪



土偶は縄文時代、埴輪は古墳時代に作られた造形物です。土偶は人を模しています。5～30 cmほどの大きさです。願いや祈りを込めて作られました。

いっぽう埴輪は、豪族の墓である古墳の周囲に並べるために作られました。1m 前後から 2m 近くの埴輪もあります。大半は、土管状の円筒埴輪ですが、人物、馬、鳥、家、大刀などもあります。埴輪は、複数で群像を構成し、葬式や首長の代替わりの様子などを表現しました。

学習用キットの効果

土偶と埴輪を比較し、つくられた時代やその特徴の違いを理解できる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|--------------|---|--|---|
| 導入 (5) 分 | 縄文から古墳時代までの振り返りを行う。 | ワークシート | 学習テーマの概要を説明。 |
| 展開 (35) 分 | ワークシートにこれまでの授業のまとめを記入。 土偶と埴輪を観察する。 ワークシートに書く。 実物の装身具を観察する。 ワークシートに書く。 特徴や疑問をグループごとにまとめ発表する。 疑問点は、博物館や図書館、インターネットで調べ学習をおこなう。 | 土偶と埴輪セット 南部 23・北部 27 時代別セット 古墳 4 装飾品 (テーマ別 04) 装身具 (テーマ別 04) | 土器や埴輪は、博物館や資料館に展示されている文化財で、国民共有の財産であることを伝える。 教科書や資料集のまとめをワークシートに書く。 観察結果を自由に書く。スケッチをしてもよい。 疑問点を必ず書く。 とくに実物の装身具の大きさに注目する。 土偶や埴輪のどこに付けた装飾品が確認する。 グループごとの発表をまとめ、解説する際、「考古学者の目」を活用する。 博物館や資料館、図書館などを積極的に利用するように促す。(インターネットは、その事項の理解に瞬時に役立つが、これらの施設は、「知の宝庫」であることから、発展的学習にぜひ活用していただきたい。) |
| まとめ (5) 分 | 授業のまとめを行い、飛鳥時代の導入とする。 | | |

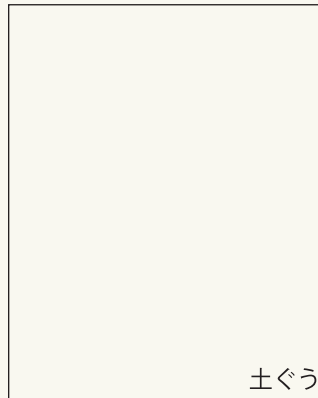
「土偶と埴輪」 ワークシート

① 教科書や資料集を調べ、土ぐうとはにわの違いについてまとめましょう。また、観察した結果を書いてみましょう。

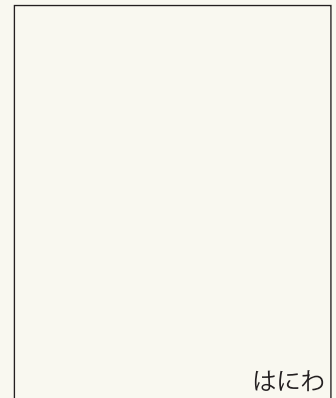
| | 土ぐう | はにわ |
|-------------|-----|-----|
| 時代 | | |
| モデル | | |
| 目的 | | |
| 大きさ | | |
| 色 | | |
| 観察して気がついたこと | | |



② 縄文人や古墳人たちが、身につけた本物のアクセサリーです。土ぐうとはにわ、どちらのどこにつけていたのでしょうか。下に図を書いて説明しましょう。



土ぐう



はにわ

考古学者の目

ー土偶は宇宙人じゃないー

土偶は宇宙人でしょうか。たしかに手が短かったり、頭が大きく足も短かったり、不思議な顔立ちをしているので、宇宙人とも思えます。

けれども土偶の様子は、縄文土器と瓜二つです。頭の形は、縄文土器の突起と良く似ています。さらに土偶は、形が地域によって異なり、時代を追って変化します。土偶は人間を像どったものなのです。

そもそも宇宙人と比較しようにも、模倣した宇宙人の存在を証明しなければなりません。また、宇宙人は、時代を追って形が変化するのでしょうか。

日本の縄文時代以外にも、先史社会では小さな像がつくられ、世界各地の遺跡から今日も発掘されているのです。



縄文時代（左）と古墳時代（右）のアクセサリー
透明なプラスチックケースに収納してあります。周囲のビニールテープは、はがさないでください。



男性の埴輪

左の埴輪は、振り分け髪の下にお下げ髪（ミズラ）を結った人物埴輪です。ミズラは男性の象徴、女性は左ページのように島田まげを結っています。男性も耳に金環を付け、首には玉を連ねた飾りをつけていました。

飾り玉には、丸玉、小玉、切子玉、勾玉などがあり、学習用キットにもあります。小玉はガラス製です。当時の日本にはガラスの原材料がなく、朝鮮半島から製品がもたらされました。日本では、その素材を再加工したと考えられ、本庄市や東松山市からは、ガラス玉の鋳型が発見されています。

また、紡錘形の切子玉は、半透明の水晶製です。さらに、埼玉県のマークにもなっている勾玉は、あめ色のメノウ製です。濃緑色の円筒形の玉は管玉といい、碧玉製です。

一方、縄文人も耳たぶに穴をあけ、そこにリング状や滑車形で装飾のある耳飾りをつけていました。土偶の耳にある穴は、この飾りの表現と言われています。子供のころに小さい飾りをつけ、大人になるに従い、だんだんと大きくしていったのでしょうか。

3 歴史をスズリから考えよう

スズリを古い順に並べ替えよう



奈良

- ① 聖武天皇
- ② 鑑真
- ③ 東大寺正倉院
- ④ 遣唐使



平安

- 菅原道真
- 最澄・空海
- 宇治平等院鳳凰堂
- 遣唐使の廃止



鎌倉

- 北条時宗
- 日蓮
- 東大寺南大門
- 日宋貿易・蒙古襲来



江戸

- 徳川家光
- 良寛
- 日光東照宮
- 朱印船貿易・鎖国



[スズリカード]

焼き物のスズリと石のスズリがあること、墨をどこですり、どこに溜めたのかなどを観察し、グループでまとめ発表する。スズリは、焼き物から石へ、円形から方形、長方形へと変化した。

中国から伝わった文字は、墨、筆、紙（木片）、そしてスズリによって書写されました。スズリは、石や焼き物などで作られ、発掘調査でしばしば出土します。スズリの存在は、そこに文字を書き、読み、意思を伝達できた人がいたことの証明となります。スズリを通じて日本の歴史を考えてみましょう。

バラバラに並べたスズリを年代順に並べ替えます。カードを用いてグループごとに発表します。正解を黒板に貼り、その下につくられた時代を書きます。なお、スズリの形が違うのは、その時代に中国で流行していた形を日本が取り入れたからです。

- ① 有名な歴史上の人物をあげ、外交や貿易に関わった人物のみを板書します。
- ② その時代を代表する僧侶をあげ、人物名を板書します。
- ③ その時代に作られた有名な社寺建築をあげ、板書します。
- ④ ①の人物群が、中国との外交や交易に関わった事跡について発表し、板書します。

そして最後に、「むかしも今も中国は、日本にとって外交や貿易などで世界でも欠かせない重要な国です。」とまとめます。

学習用キットの効果 小学校第6学年社会科の江戸時代までをふり返ることができる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|-------------|------------------------|-------------------------------|---|
| 導入 (5)分 | これは何でしょう 時代順に並べてみよう | スズリ D (円面硯) スズリ A～D | 箱から円い形のスズリ D を出し、これは何かと問う。 スズリ A・B・C も出し、スズリであることを伝える。 |
| 展開 (15)分 | グループごとに話し合い 発表 | スズリカード (4×グループ数) ワークシート | 4点のスズリを観察し、カードを使って古い順に並べる。 グループごとに話し合う。 ワークシートに順番を記入し、その理由を書く。 グループごとに発表。板書する。 黒板に正答を貼る。(上図) |
| まとめ (5)分 | 共通点を考えよう | ワークシートに記入 教科書・資料集もよい | 写真の下にそれぞれのスズリの使われた時代を板書する。 時代の下に歴史上の人物や建物を発表させ、板書する。 外交や貿易、宗教者などでまとめると良い。建物も修学旅行などと関連づけられるとよい。 中国との複雑な関係を、関連付けながらまとめる。 |

「スズリと文字の歴史」ワークシート

社会科特別授業～歴史っておもしろいっ！～

課題「資料から人々の暮らしの様子について考え、歴史の楽しさを味わおう」

名前 ()

Q1 古い順に並べよう。



A



B



C



D

古い順



メモ

Q2 木簡を読み解こう。木簡（もっかん）とは・・・紙の代わりに文字を記した木の札のこと

何て書いてあるのかな？

メモ

㊦

㊧



(表)

(裏)

〔スズリの歴史と木簡を用いた授業〕

この木簡は、奈良時代の子供が、漢字を練習した習書木簡です。左の中央に手本となった「是」と「長」が丁寧に書かれ、それに続いて大雑把な文字が練習されています。また、右下には、「十月」が連続して書かれているように見えますが、これは、「有」を「十」と「月」に分けて練習した結果です。

今の子ども、1300年前の子供と同じように、漢字の練習帳に偏と旁を分けて練習していたようです。そう考えると、歴史が身近なものになってきます。

考古学者の目



これもスズリです。埼玉県で最も古い焼き物のスズリです。寄居町の末野遺跡から出土しました。この遺跡からは、焼き物を焼く窯や工人のアトリエが発見されています。

このスズリは、中央の円形の部分で墨をすり、周囲のくぼんだ部分に墨を溜める仕組みになっています。周囲には、12個の脚がめぐり、まるでムカデのようです。ですから「百足硯」とも言われています。よく見ると獣の脚を模した細かな模様があることから「獣足硯」ともよべれます。

このようなスズリは、朝鮮半島の百済で流行しましたが、日本ではとても珍しいスズリです。

残念ながら窯場から出土したので、使用者の特定には結び付きません。しかし、とても大形のスズリであることから、武蔵国のリーダーが、特別、寄居町末野の窯場に発注して作ったスズリだったかもしれません。

💡 こんな展開もどうですか？



それぞれのスズリと同じ時代の土器を並べ、人々のくらしの変化もともに学習します。机に並べた土器は、右から奈良・平安・鎌倉・江戸時代のナベです。カマドや囲炉裏にかけられ、蒸したり、煮たり、焼いたり、ゆでたりして食べ物を調理しました。

4 平安時代のくらしと地震

衣 平安時代の貴族と民衆（衣服）

民衆 麻の衣

貴族 衣冠束帯 十二単

食 平安時代の貴族と民衆（食事）

貴族 漆器・陶器

民衆 土器・木器

住 平安時代の貴族と民衆（住まい）

貴族 寝殿造り

民衆 竪穴住居

パワーポイント資料（一部）



学習用キット東部 14

まず、授業で学んだ平安時代の貴族と民衆のくらしについて、「衣・食・住」をまとめます。

このなかで、遺跡に情報が残りやすいのは「食」と「住」です。ただし、土中で腐って無くなる食品や木材などは、発見されにくく、土器や地面に掘った柱の穴などが見つかるだけですから、情報に限界もあります。

ここでは平安時代、竪穴住居でくらししていた埼玉県の遺跡の人々が、実際使った土器を学習用キットに組み込んでいます。1や4はナベにあたる土器、2・5～7は椀や皿などの食器、3は仏具の花瓶です。

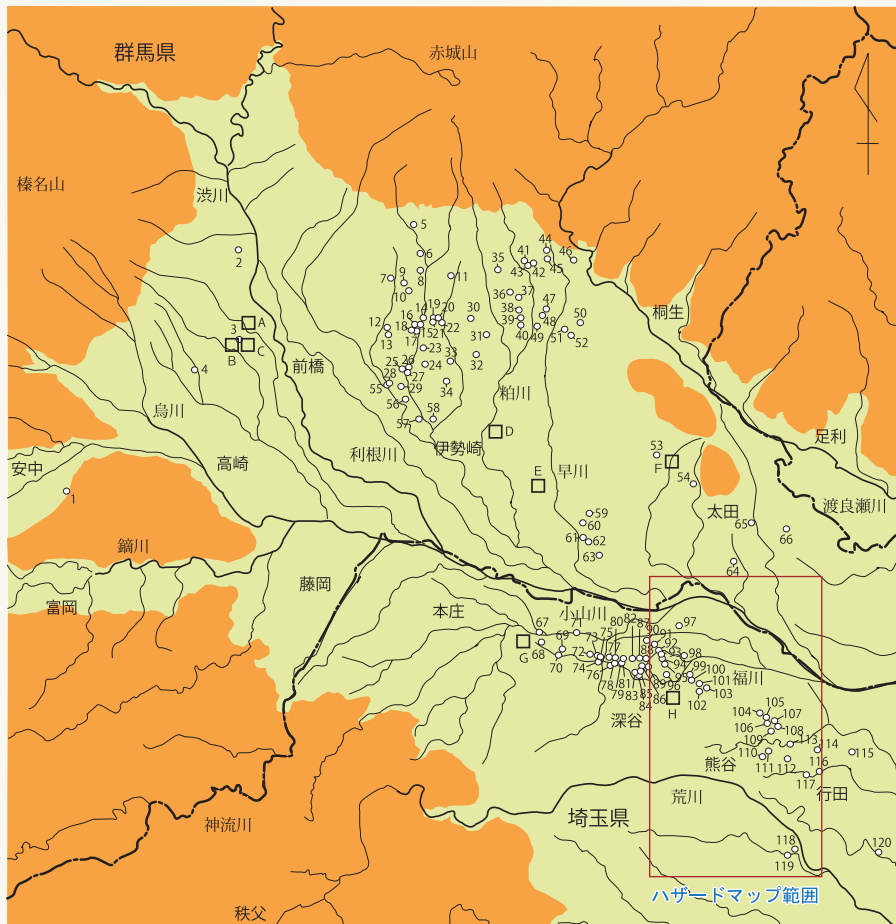
平安時代でも地方の民衆は竪穴住居に住み、これらのナベで食品を調理し、椀や皿に盛って食事をしていたのです。竪穴住居の床は、むかしの農家の土間わらむしろと考えるとよいかもかもしれません。そこに藁わらや蓆むしろなどを敷いてくらししていました。そこに、巨大地震が襲ったのです。

学習用キットの効果

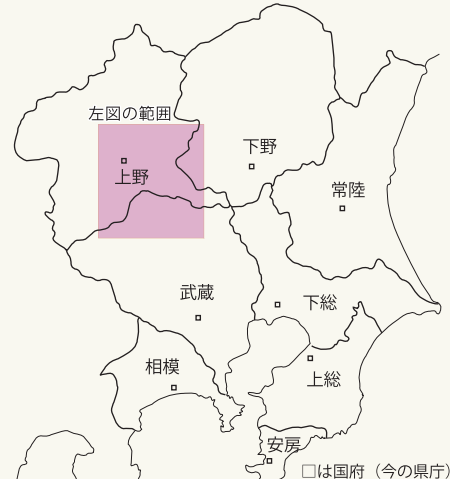
平安時代の貴族と民衆のくらしを復習し、弘仁こうにんの地震について学ぶことができる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|-------------|---|---|--|
| 導入 (5)分 | 目標の確認 | 電子黒板 | 1、土器や遺跡から貴族と民衆のくらしを考える。 2、遺跡から1200年前の地震を復元し、防災に役立てる。 |
| 展開 (35)分 | これまでの復習 事前に机に平安時代の土器を2セットならべる | パワーポイント 学習用キット（北部03） 学習用キット（東部14） | 平安貴族と地方の庶民のくらしを復習する。 Q それぞれ手に持ち、何に使ったか、貴族か民衆かなどを考え観察（3分程度）して発表。 |
| | 災害の種類別に番号の色を塗る | ワークシート パワーポイント | ・食器は現代と形が近いが、ナベは土製だったことや、民衆と貴族とでは、衣食住が異なることを実物で確認する。 Q この土器を使っていたころ（818年）、関東地方で大きな地震が起こった。ワークシートは、その地震の痕跡が残る群馬県と埼玉県の遺跡の分布図である。 |
| | 資料の読解。地図に地震の範囲を記入。 学校の位置を記入し、今後の防災に役立てる。 | ワークシート ハザードマップ | ・地割れ・液状化現象・洪水等が、異なる地形で発生したこと、被害の状況から1200年前の地震の震度を確認する。 Q 弘仁地震にかかわる史料を読み上げる。 ・歴史史料から情報を引き出す。 Q ワークシートと市町村ハザードマップを比較し、学校の位置を記入する。 |
| まとめ (5)分 | | | 遺跡や史料をくわしく調べると、災害のことや当時の人々の暮らしの様子が分かる。 |

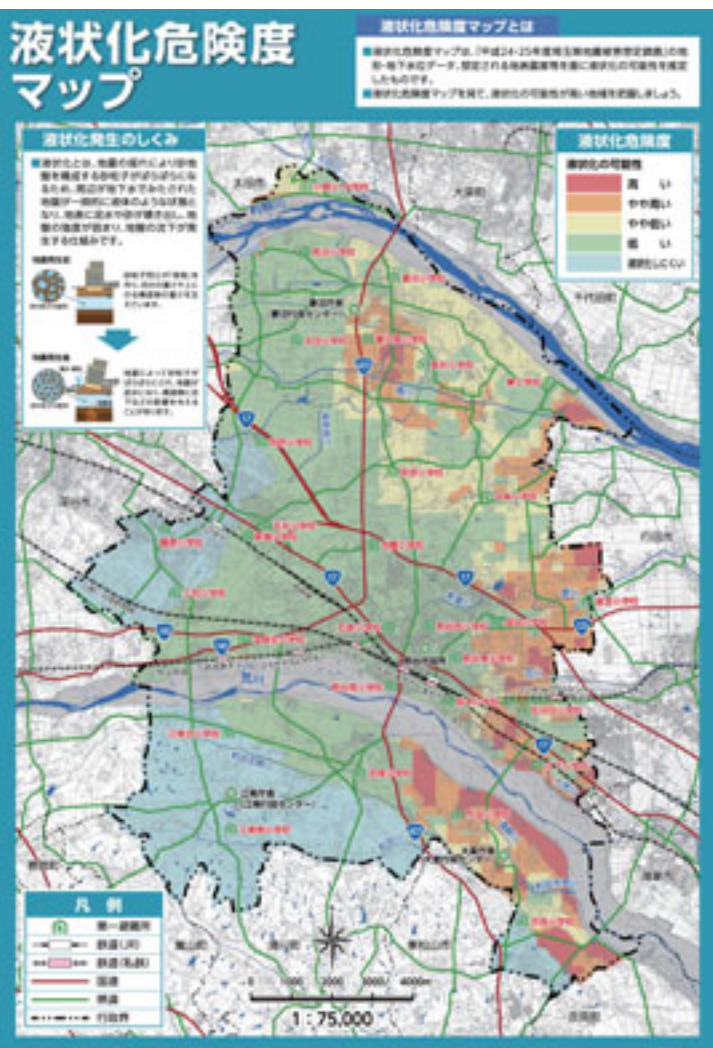
「弘仁地震と発掘された遺跡」ワークシート



- 【赤●と青●を塗り分けてみましょう】
- 1～3、5～54 地割れ（震度7）
 - 55～63 洪水
 - 64～120 液状化現象（震度5強以上）
 - 瓦を葺いた建物があった遺跡



震度5強以上の地震によって液状化した砂が、地割れから吹き出した竪穴住居跡



史料1
弘仁九年（八一八）七月
相模（神奈川県）武蔵（埼玉県・東京都）・下総（千葉県北部）常陸（茨城県）・上野（群馬県）下野（栃木県）などの国で地震があった。山がくずれ、谷が数里にわたって埋もれた。
（『類聚国史』）

史料2
弘仁九年（八一八）九月
計り知れないほどの人が圧死した。とくに被害が大きかった上野（群馬県）の境は、水浸しで人や物の損害が大きかった。そこで、今年の租と調を免ずる。また国家の財源で食糧を支出し、建物の修理を補助しなさい。さらに地震で死んだ人々は、早々に手厚く葬りなさい。
（『類聚国史』）

考古学者の目

弘仁9年（818）、関東地方を巨大な地震が襲いました。群馬県と埼玉県北部の遺跡には、地震の被害痕跡が刻まれています。赤城山南麓は、震度7の揺れが襲い地割れが発生し、洪水も発生したこと、埼玉県北部は、震度5強以上の揺れが襲い、液状化現象が発生したことが、発掘調査で明らかとなりました。

左上図は、地震痕跡の発見された遺跡の分布図です。どのような地形の場所で、どのような被害が発生したのか。色分けして確認してみましょう。また、市町村が作成したハザードマップと比較し、防災学習に役立てましょう。

ところで、『類聚国史』にこの地震に対する政府の対応がみられます。史料1では、地震被害の及んだ範囲がわかるので、右上図に色を塗ってみましょう。

また、史料2では、税の免除や建物修理の支援、死没者のすみやかな埋葬などが行われたことがわかります。歴史は、このように復元されていくのです。

5 幕末の陶磁器を復元しよう



1 新聞紙を敷いた台の上に陶磁器を袋から出し置きます。



2 色や形、焼き方などの種類ごとに破片を分類します。



3 破片からどのような形か推定し、ワークシートに書き込みます。



白い破片は、ツルツルしていて青い絵が描かれています。



わん



緑の破片は、外側だけに色があります。複雑な穴も開いています。



土瓶



茶色の破片は、内側と縁にだけ色があります。



灯明皿



茶色の破片で内側には、色がない破片です。



徳利

学習用キットの効果

遺跡から出土した陶磁器から幕末のくらしを学ぶことができる。

| めやす | 学習活動・内容 | 学習用キット等 | 授業の留意点 |
|--|--|--|--|
| 導入 (5)分 展開 (35)分 まとめ (5)分 | 幕末の歴史を振り返る。 陶磁器片を分類。 ワークシートにスケッチ。 復元品による確認。 復元品の解説。 ワークシートにメモ。 グループごとに発表。 まとめを行う。 | 陶磁器の破片セット ワークシート 復元品セット 8点 解説カード ワークシートに記入 | 学習テーマの概要を説明。 机に新聞紙を敷き、破片セットを袋から出します。 色・形・焼き方などで土器を分類します。 4種類の陶磁器が入っています。 表裏を観察し、口や底などの部位ごとに並べます。 ワークシートに破片から推定した形を描きます。 復元品を取り出し、推定した形との違いを確かめます。 解説カードに基づき、復元品の説明を行います。 地図帳で「栗橋宿」と陶磁器の出身地を確認する。 資料集をもちいて現代の生活と近いこと、遠いことなどをまとめる。 「考古学者の目」を参考に幕末のくらしが、現代のくらしと意外と近いことを気付かせる。 |

「幕末の陶磁器」ワークシート

① 土器片を同じ形ごとに集め、想像した形を下の四角のなかにえがいてみよう。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

陶磁器の名前

陶磁器の名前

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

陶磁器の名前

陶磁器の名前

② 資料集を調べ、江戸時代（幕末のころ）と現代のくらしについて同じところ、違っているところをくらべてみよう。

| | 江戸時代 | 令和 年 |
|-----|------|------|
| かみ形 | | |
| 服装 | | |
| あかり | | |
| こよみ | | |
| 新聞 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

考古学者の目

1853年、神奈川県横須賀市浦賀にペリーの率いる4隻の「黒船」が着きました。アメリカから合衆国大統領の親書を携え、開国を迫ったのです。そこから江戸幕府の滅亡、明治政府の始まりのころを幕末といえます。

幕末は、開国に伴い列強との交流、東アジアの経済活動が盛んとなり、欧米由来の新しい文化が、怒涛のように日本に押し寄せました。蒸気船、蒸気機関車、ガス灯、新聞、洋服、革靴など数えきれない文物が登場しました。

なかでも人類史上、歴史の記録として「文字」や「絵画」以来の、新たな記録媒体として登場したのが、「写真」です。写真は、時間を切り取ったかのようにその瞬間を表現します。

坂本龍馬やペリーなどの写真から新たな時代が始まったのです。



[灯明皿と油差し徳利]

灯明の歴史は古く、飛鳥時代にさかのぼります。お寺のお堂や仏像を照らすため、エゴマ油が燃やされました。大きな寺院は庄園が貢納していましたが、平安時代後期になると、需要の増加から安定供給を図るため、油座が設けられました。なかでも大山崎の油座は、西日本一帯を支配していました。

しかし、戦国時代に菜種から搾油がはじまると、油座は急速に衰えました。江戸時代には、庶民の生活も豊かになり、菜種油の消費量も増加しました。

灯明は、油をこの小皿に注ぎ、ひもを芯にして灯しました。重ねた二枚組の下の皿は、芯から器の外に浸み出した油を受けるための容器です。また、持ち手の付いた徳利は、この灯明皿に油を注ぐ油差しです。首のところに油受けがついています。

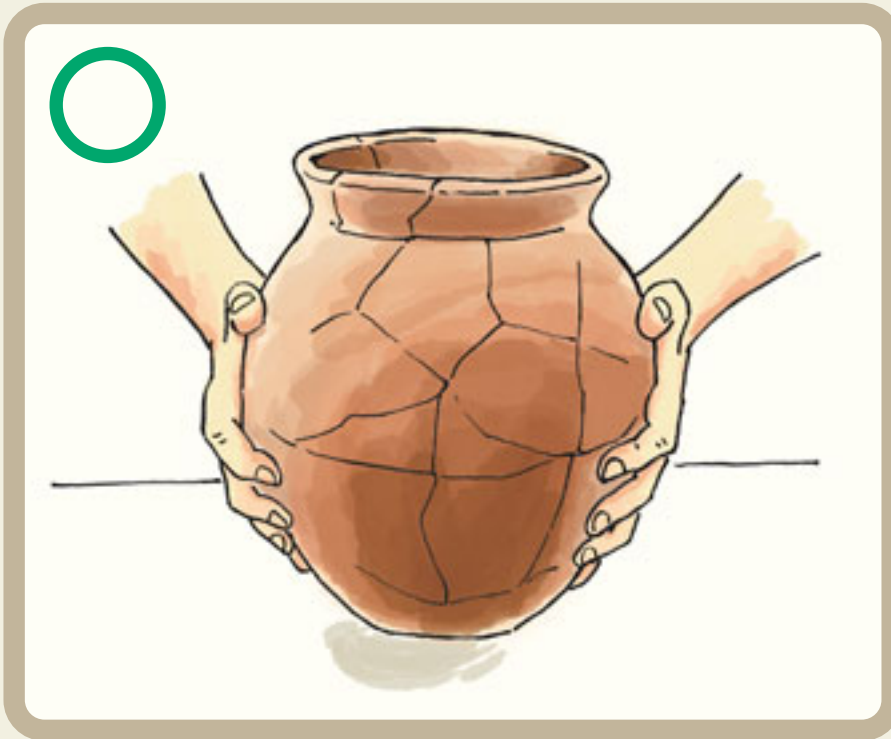


[江戸時代の陶磁器セット]

久喜市栗橋宿跡の町屋から出土しました。栗橋宿は、徳川将軍家が、日光東照宮へ参るため整えた日光道中の宿場です。

土器の扱い方

土器などの遺物は、長い間地中に埋蔵されてきたものです。したがって、強度的に弱く、大変もろくなっているのが普通です。また、破片を一つ一つ、つなぎ合わせているので、接合部は外れやすくなっています。びくびくすることはありませんが、丁寧に扱きましょう。



両手でしっかりと持ち、静かに置きましょう。



片手で持ち上げない。



勢いよく置かない。

キットの使い方



重くかさばるものが多いため、貸出しの際は自動車等での運搬をおすすめします。

専門の職員が考古遺物の扱い方をレクチャーしますので、安心してご利用ください。

しまう時は、開封時と同じように収めてください。
(コンテナの蓋に収納の写真が貼ってあります)

プラスチックケースの資料は周囲のテープを取らないでください。

無料貸出サービス ご利用方法

1 電話で申込み

あらかじめ、何を借りるかを調べて

おきましょう。学習の目的に合わせて、時代や地域などの多様なセットから選べます。くわしくはこのパンフレットの裏表紙をご覧ください。

事業団ホームページ
<https://www.saimaibun.or.jp/>



2 貸出し

埋文事業団（埼玉県熊谷市）にお越しください。

「学習用キット利用申請書」に記名・捺印していただきます。



3 ご利用

貸出し期間は、原則2週間です。



ご利用期間中は申請書に記名された方が、施錠できる場所でキットを管理してください。利用申請書に書いた以外の用途・目的での使用や又貸しはつつしんでください。

4 ご返却



あらかじめ電話連絡のうえ、ご来所ください。キット内容がそろっているか、確認させていただきます。

申込・貸出・問い合わせ先

(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団

埼玉県熊谷市船木台4丁目4-1 《所在地》
(埼玉県文化財収蔵施設)

TEL 0493-39-5346
(資料活用部)

午前9時～午後5時まで
(土・日・祝日・年末年始は除きます)

関越自動車道東松山I.C.から車で25分



土器・石器・埴輪 学習用キット

無料貸出サービス

学習用キットは、埼玉県内で発掘された本物の埋蔵文化財(土器・石器・埴輪など)を使って郷土の学習をより深めるための貸出教材です。

学習の目的に合わせて時代や地域などの多様なセットから選べます。



学習用キットの
カタログはこちら

貸出についての問い合わせ

(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県熊谷市船木台4丁目4-1
0493-39-5346 (資料活用部)



地域別セット

各市町村の遺跡ごとのセットになっています。
東部・西部・南部(さいたま市含む)・北部の教育事務所に対応しています。

- ・東部 (24 セット)
- ・西部 (45 セット)
- ・南部 (29 セット)
- ・北部 (40 セット)



西部 12 (駒堀遺跡)



東部 17 (小沼耕地遺跡)



北部 14 (広木上宿遺跡)

時代別セット

各時代の特徴的な土器などが時代別にセットになっています。

- ・旧石器時代 (2 セット)
- ・縄文時代 (2 セット)
- ・弥生時代 (3 セット)
- ・古墳時代 (4 セット)
- ・奈良時代 (2 セット)
- ・平安時代 (2 セット)



縄文時代①



奈良時代①



旧石器時代②

テーマ別セット

道具の種類や使われ方ごとにセットになっています。

- ・祭祀セット (1 セット)
まつりやまじないの道具
- ・葬送儀礼セット (1 セット)
古墳に並べられた埴輪など
- ・装身具セット (2 セット)
耳飾りや首飾りなど



葬送儀礼セット



装身具セット

体験別セット

4種類の体験セットをご用意しています。
用途に合わせてご利用ください。

火おこし



黒曜石



文様つけ



拓本

